
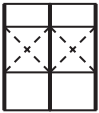
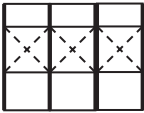
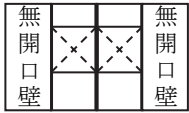


評価シート

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-274	
評価技術名称					連絡先	http://www.			
構造用合板補強工法					〒				
大壁「腰窓」裏棧あり					電話	Fax			
概要	技術概要 開口を有しながら、真壁で腰窓上下の垂壁と腰壁を構造用合板で補強する工法。								
	技術の特徴						コスト		
	<ul style="list-style-type: none"> 開口部を有していても、腰壁、垂壁を補強する事により耐震補強が可能。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面	—	
							設計見積り例	—	
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関				
機関名					名古屋工業大学				
評価番号					その他				
評価取得日									
仕様	適用範囲								
	構法	木造在来軸組工法							
	規模	3階建て以下							
	基礎、地盤	特になし							
	適用部位	内外壁							
	その他	特になし							
	主要構成部材の仕様								
	構造用合板 厚12mm以上								
	まぐさ、窓台を上下受材と兼用する事も可能								
	間柱、上下受材あり								
耐震性能									
評価仕様: 大壁直貼仕様									
		壁基準耐力	壁基準剛性						
半間独立		2.08kN/m	292kN/rad./m						
連続片側		1.04kN/m	146kN/rad./m						
半間独立: A-111からの低減係数 $\alpha = 0.4$									
連続片側: A-111からの低減係数 $\alpha = 0.2$									
次ページを参照のこと									
設計方法									
①柱接合部による低減									
取付部分が健全であること									
②劣化による低減									
取付部分が健全であること									
施工者指定									
特になし									
その他									
その他									
					写真・図				
					<p>部分開口 $a \geq 880\text{mm}$ $b \leq 1200\text{mm}$ $c \geq 400\text{mm}$</p> <p>上下受材は 正面から見て 45mm</p> <p>$600 \leq W \leq 1000$</p>				
					大壁 裏棧あり				
					構造用合板 厚12mm以上				
					釘 N50、CN50 @100mm以下				
					四周、間柱打ち				
					上下受材 90×45mm以上				
					釘 柱、間柱に対して 2-N75 斜め打ち				
					間柱三ツ割材以上				
					間柱に対し、上下受材勝ち				

別紙:壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

耐震	部位	壁	分類	開口型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-274
評価技術名称					連絡先			
構造用合板補強工法					〒			
大壁「腰窓」裏棧あり					電話		Fax	
壁基準耐力・壁基準剛性 一覧								
<p>連続する垂壁、腰壁は、3m までの壁を評価する。</p> <p>隣に無開口壁のある場合を除き、連続する2つ目からは、$\alpha = 0.2$ とする。</p>								
仕 様	基本仕様	半間が連続	半間が3つ連続	腰窓連続+両側に無開口壁				
	半間独立  0.4	半間連続  0.4 0.2	半間3連(柱あり)  0.4 0.2 0.2	半間連続両側  0.4 0.4				
※耐力壁の間に記載している数値は、耐力壁の配置によって設定した低減係数 α								